



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月14日

上場会社名 株式会社極楽湯ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2340 URL <https://www.gokurakuyu-holdings.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長グループCEO (氏名) 新川 隆文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員CFO (氏名) 鈴木 正守 (TEL) 03-5275-4126
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	7,141	16.1	△625	—	275	—	305	—
2021年3月期第3四半期	6,152	△44.6	△1,417	—	△1,084	—	△1,394	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 270百万円(—%) 2021年3月期第3四半期 △1,589百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	15.80	15.24
2021年3月期第3四半期	△82.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	19,563	2,356	10.4
2021年3月期	18,514	1,330	5.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 2,043百万円 2021年3月期 1,022百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

2022年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染症拡大による影響を現時点において合理的に算定することが困難であるため未定としております。今後、合理的な算定が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	20,638,800株	2021年3月期	18,562,200株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	75株	2021年3月期	72,975株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	19,306,528株	2021年3月期3Q	16,906,446株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の制限が段階的に緩和されたことにより景気持ち直しの動きがみられたものの、足元では新型コロナウイルスの感染が再び急拡大しており、引き続き予断を許さない状況となっております。温浴業界におきましては、感染拡大に伴う来店客数の減少や飲食など付帯施設の利用減少に加え、競争激化や人手不足並びにエネルギーコストの上昇等により、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループにおいては、連結売上高7,141百万円（前年同期比16.1%増）、営業損失625百万円（前年同期営業損失1,417百万円）、経常利益275百万円（前年同期経常損失1,084百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益305百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失1,394百万円）となりました。

なお、「収益認識会計基準」等を第1四半期連結会計期間の期首から適用するとともに、従来は営業外収益「その他」に計上していた販売委託契約に係る取引に付随する取引については、売上高に計上する方法に変更しております。この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期連結累計期間の売上高が1,210百万円減少し、営業損失が16百万円減少しておりますが、経常損失と税金等調整前四半期純損失については変更ありません。

セグメントの業績を示すと次のとおりです。

① 日本

当セグメントにおきましては、売上高6,043百万円（前期比10.5%増）、セグメント損失（営業損失）475百万円（前期セグメント損失1,047百万円）となりました。

第3四半期（10月～12月）における日本の業績は、TVアニメ「東京リベンジャーズ」「進撃の巨人」等のコラボイベントが好調に推移したに加え、感染者数が大きく減少したことで消費マインドが持ち直したことや、世界的な物価上昇に伴うコストアップを反映して一部直営店の入館料金を値上げしたこと等により、営業黒字で着地し、前年同期に比べ増収増益となりました。

② 中国

当セグメントにおきましては、売上高1,118百万円（前期比61.4%増）、セグメント損失（営業損失）40百万円（前期セグメント損失249百万円）となりました。

第3四半期（10月～12月）における中国の業績は、中国国内で感染封じ込め対策が徹底されていることにより、海外旅行に変わる国内近郊のレジャー需要の恩恵を受け、客数及び売上高が回復傾向で推移している中、一部の直営店付近で新型コロナウイルスの感染者が出たことで集客に影響を受けたことに加え、業績回復に向けて前年度は極限まで抑えていた修繕費や人件費が増加したこと等により、営業黒字で着地したものの前年同期に比べ減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,048百万円増加し19,563百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,103百万円増加した一方で、主に減価償却費により有形固定資産及び無形固定資産が266百万円減少したことによるものであります。

次に、負債合計は、前連結会計年度末に比べ23百万円増加し17,206百万円となりました。これは主に、買掛金が146百万円増加した一方で、前受金60百万円、及び短期借入金85百万円減少したことによるものであります。

最後に、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,025百万円増加し2,356百万円となりました。これは主に、ファミリー型新株予約権の行使により、資本金が287百万円及び資本剰余金が274百万円増加したことによるものであります。また、自己資本比率につきましては、10.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、2021年5月20日に公表いたしました2021年3月期決算短信において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を合理的に算定することが困難であるため、未定とさせていただきます。

現在、オミクロン株を中心とした新型コロナウイルスの感染急拡大に伴い、感染者や濃厚接触者の急増に加え、まん延防止等重点措置の適用に基づく飲食の時短営業など店舗の営業活動に大きな影響を受けており、今後の見通しが立たない状況が続いております。従いまして、2022年3月期の業績予想につきましては、引き続き未定とさせていただきます。今後の市場動向や新型コロナ感染症の終息状況等により、業績予想を合理的に見積もることが可能になった時点で、速やかに公表させていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,788,176	5,892,083
売掛金	248,327	314,180
未収入金	58,133	8,851
棚卸資産	94,496	124,454
その他	342,857	364,997
貸倒引当金	△53,875	—
流動資産合計	5,478,117	6,704,566
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,059,803	7,769,192
工具、器具及び備品（純額）	286,617	311,703
土地	1,403,989	1,403,989
建設仮勘定	563,565	601,060
有形固定資産合計	10,313,976	10,085,945
無形固定資産		
のれん	274,322	258,794
その他	66,989	44,531
無形固定資産合計	341,312	303,326
投資その他の資産		
投資有価証券	115,375	562,820
長期貸付金	367,138	394,138
繰延税金資産	7,394	1,729
敷金及び保証金	1,134,389	1,163,211
関係会社株式	632,974	309,537
その他	655,694	593,349
貸倒引当金	△589,994	△632,962
投資その他の資産合計	2,322,971	2,391,823
固定資産合計	12,978,260	12,781,095
繰延資産		
開業費	58,343	77,855
繰延資産合計	58,343	77,855
資産合計	18,514,720	19,563,517

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	299,522	446,150
短期借入金	1,767,297	1,681,500
1年内返済予定の長期借入金	2,099,219	1,650,745
未払金	685,946	670,150
未払法人税等	103,398	104,107
前受金	1,439,870	1,379,534
賞与引当金	38,627	36,340
その他	958,545	1,035,225
流動負債合計	7,392,427	7,003,755
固定負債		
長期借入金	7,670,307	8,118,781
退職給付に係る負債	144,471	142,907
資産除去債務	1,430,352	1,442,902
繰延税金負債	464,775	440,117
その他	81,392	58,503
固定負債合計	9,791,299	10,203,212
負債合計	17,183,727	17,206,967
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,683,193	3,970,366
資本剰余金	3,271,825	3,546,500
利益剰余金	△5,806,105	△5,381,251
自己株式	△36,305	△37
株主資本合計	1,112,606	2,135,578
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△28,006	△24,299
為替換算調整勘定	△61,770	△67,497
その他の包括利益累計額合計	△89,777	△91,797
新株予約権	308,164	312,768
非支配株主持分	—	—
純資産合計	1,330,993	2,356,550
負債純資産合計	18,514,720	19,563,517

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	6,152,907	7,141,111
売上原価	6,715,989	6,928,755
売上総利益又は売上総損失(△)	△563,082	212,356
販売費及び一般管理費	854,545	837,919
営業損失(△)	△1,417,627	△625,562
営業外収益		
受取利息	12,819	5,975
受取家賃	16,220	17,712
為替差益	106,712	240,645
デリバティブ評価益	43,414	27,579
協賛金収入	31,236	51,503
助成金収入	274,923	637,203
原油スワップ差益	—	35,483
その他	38,006	30,679
営業外収益合計	523,333	1,046,783
営業外費用		
支払利息	87,735	79,457
支払手数料	53,125	25,833
持分法による投資損失	14,008	34,197
シンジケートローン手数料	7,183	6,000
原油スワップ差損	11,065	—
その他	16,931	208
営業外費用合計	190,048	145,697
経常利益又は経常損失(△)	△1,084,342	275,523
特別利益		
新株予約権戻入益	6,134	18,987
資産除去債務戻入益	5,404	—
事業譲渡益	14,897	—
保険解約返戻金	48,051	—
持分変動利益	—	21,401
特別利益合計	74,488	40,388
特別損失		
固定資産除却損	4,934	27,378
減損損失	331,848	—
関係会社株式売却損	7,714	—
貸倒引当金繰入額	139,427	—
その他	67	—
特別損失合計	483,993	27,378
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,493,848	288,533
法人税、住民税及び事業税	38,622	66,407
法人税等調整額	85,591	△30,370
法人税等合計	124,213	36,037
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,618,062	252,496
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△223,321	△52,593
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,394,740	305,089

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,618,062	252,496
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△644	3,707
為替換算調整勘定	36,139	△5,160
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,966	19,147
その他の包括利益合計	28,528	17,694
四半期包括利益	△1,589,533	270,190
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,377,967	320,449
非支配株主に係る四半期包括利益	△211,565	△50,259

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、販売委託契約に係る取引について、従来は顧客から受け取る対価の総額で収益を認識しておりましたが、顧客への財又はサービスの提供における当社グループの役割が代理人に該当する取引については、顧客から受け取る額から仕入先に支払う額を控除した純額で収益を認識する方法に変更しております。また、従来は営業外収益「その他」に計上していた販売委託契約に付随する取引については、売上高に計上する方法に変更しております。

当該会計方針の変更は、原則として遡及適用され、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期連結累計期間の売上高が1,210,424千円減少し、売上原価が1,227,318千円減少し、営業損失が16,894千円減少しますが、経常損失と税金等調整前四半期純損失については変更ありません。また、前連結会計年度の期首の純資産に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下、「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、「時価算定会計基準」等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ287,173千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が3,970,366千円、資本準備金が1,316,966千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	中国	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	5,460,285	692,622	6,152,907	—	6,152,907
外部顧客への売上高	5,460,285	692,622	6,152,907	—	6,152,907
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,842	—	10,842	△10,842	—
計	5,471,127	692,622	6,163,750	△10,842	6,152,907
セグメント損失(△)	△1,047,024	△249,548	△1,296,572	△121,055	△1,417,627

(注) 1 セグメント損失の調整額△121,055千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

(固定資産に係る減損損失)

中国セグメントにおいて、建設仮勘定の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては331,848千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1、2	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	中国	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	6,023,100	1,118,011	7,141,111	—	7,141,111
外部顧客への売上高	6,023,100	1,118,011	7,141,111	—	7,141,111
セグメント間の内部売上高又は振替高	20,827	—	20,827	△20,827	—
計	6,043,928	1,118,011	7,161,939	△20,827	7,141,111
セグメント損失(△)	△475,238	△40,269	△515,507	△110,054	△625,562

(注) 1 セグメント損失の調整額△110,054千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

なお、前第3四半期連結会計期間のセグメント情報については、変更後の損失の算定方法により作成したものを記載しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。